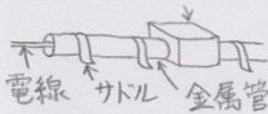


430. 金属管工事・金属可とう電線管工事

<金属管工事>

アウトレットボックス
(電線の接続、器具
の取付などを行う)



④特徴: 金属管の中に絶縁電線を引き入れて施設する工法で、機械的衝撃にも強く、ビル、工場などの低圧配線に広く用いられている

⑥施設方法 ①電線: 絶縁電線(屋外用ビニル絶縁電線を除く)である事。より線または直径3.2mm(アルミ線にあっては4mm)以下の単線である事←ただし、短小な金属管に収めるものは除かれる。金属管内では、電線に接続点を設けない事 ②金属管等: 管の厚さは、

コンクリートに埋め込むものは1.2mm以上、それ以外は1mm以上←ただし、継手の無い長さ4m以下の物を乾燥した展開した場所に施設する場合は0.5mm以上とする事ができる

③施設方法: 湿気が多い場所または水気のある場所に施設する場合は、防湿装置を施す事

④接地工事: 使用電圧が300V以下の場合、管にD種接地工事を施す事←ただし、管の長さか4m以下の物を乾燥した場所に施設する場合、または使用電圧が直流300Vまたは交流対地電圧150V以下の場合で、管の長さか8m以下の物に簡易接触防護を施す時、または乾燥した場所に施設する時は、D種接地工事を省略できる。使用電圧が300Vを超える場合は、管にC種接地工事を施す事←ただし、接触防護措置を施す場合は、D種接地工事による事ができる

<金属可とう電線管工事>

④特徴: 可とう電線管の中に絶縁電線を引き入れて施設する工法で、振動の有る機器への配線の接続や、構造物の接合部分などのある程度のすれが予想される箇所、または複雑な曲がりの有る箇所などの配線に用いられる

⑥施設方法 ①電線: 絶縁電線(屋外用ビニル絶縁電線を除く)である事。より線または直径3.2mm(アルミ線にあっては4mm)以下の単心の物である事。電線管内では、電線に接続点を設けない事 ②電線管等: 電線管は2種金属製可とう電線管である事←ただし、管の厚さが0.8mm以上で乾燥した展開した場所または乾燥した点検できる隠ぺい場所に施設する場合(使用電圧が300Vを超える場合は、電動機に接続する部分で可とう性を必要とする部分に限る)は、1種金属製可とう電線管を使用する事ができる ③施設方法: 2種金属製可とう電線管を使用する場合に、湿気が多い場所または水気のある場所に施設する時は、防湿装置を施す事 ④接地工事: 使用電圧が300V以下の場合、電線管にD種接地工事を施す事←ただし、管の長さか4m以下の場合、D種接地工事を省略できる。使用電圧が300Vを超える場合は、電線管にC種接地工事を施す事←ただし、接触防護措置を施す場合は、D種接地工事による事ができる



あと金属管
の厚さ

接地工事の種類と
接触防護措置を
施した場合も抑え
ておこう

共に、全ての低圧屋
内配線で施設でき
るけれど、湿気多い
場所または水気あ
る場所では防湿装
置を施さないといけ
ないのね

